



コレクションの一部は総合文化財センター内にある早池峰山岳博物館で展示されている



板垣 武美 議員
(地域政党いわて)

Q 市長は、先の決算特別委員会で、私の質疑に対して現在の総合計画を新たな計画につくり直し

A(市長) 単純に指標の見直しではなく、有識者や関係団体からの意見を見直しではなく、有識者や関係団体からの意見をはじめ、市民の意向を把握したうえで、将来の花巻市のあるべき姿理想

次期総合計画の策定をどうする行政評価などと連動した計画に

たいとの意欲を示したが、この次期総合計画の基本的な考え方と策定手続きについて伺う。

A(市長) 単純に指標の見直しではなく、有識者や関係団体からの意見を見直しではなく、有識者や関係団体からの意見をはじめ、市民の意向を把握したうえで、将来の花巻市のあるべき姿理想

寄贈予定者への誠意ある対応をコレクションの活用を継続協議



近村 晴男 議員
(花巻クラブ)

Q 以前、エーデルワイスクレクションについて先方から「期限を区切つて市の計画を示してほしい

A(大迫総合支所長) コレクションについて、市は「期限を区切つて市の計画を示してほしい」との申し入れがあつたと聞くが、展示計画を示せないのであれば、資料の返却も含め、誠意ある対応が求められると思うが、今後の進め方を伺う。

A(大迫総合支所長) コレクションの持つ価値と存在意義につきましては、中心市街地の活性化に資

するとの判断から、継続協議しているところであります。今後につきましては、大迫地域を中心市街地顔づくり委員会での話し合いを見守つていきたくと考えている。

Q 農村守る財源確保を TPP関係国との話



策定が待たれる総合計画

し合いに望む国の決断への見解と、首相の「美しい農山村を将来にわたって守る」との発言の裏付けの財源確保を国に要望すべきではないのか伺う。

A(市長) TPPについては、詳細な情報が示され国民的合意を得た段階で対応すべきものと考えており、現時点では慎重に対応する。また、農業の体质強化という観点から全国市長会を通じ要望している。

次期総合計画の策定をどうする行政評価などと連動した計画に

たいとの意欲を示したが、この次期総合計画の基本的な考え方と策定手続きについて伺う。

A(市長) 単純に指標の見直しではなく、有識者や関係団体からの意見を見直しではなく、有識者や関係団体からの意見をはじめ、市民の意向を把握したうえで、将来の花巻市のあるべき姿理想



放射線量の測定が行われている(市役所本庁新館前)



中村 初彦 議員
(明和会)

Q 「コミュニティ會議は、地区的長期的な将来像の策定に努めるものとする」と条例で規定し努

め目標として定めている。この地区ビジョンをどのように評価し、市長は市のまちづくりにどう反映しているのか。

A(市長) 地区ビジョンは、住民の意見が反映されている。今後、ビジョンに沿ったまちづくりを開することで、合衆市



中村 初彦 議員
(明和会)

住み良い地域の実現に期待像の評価

イーハトーブ花巻の実現につながるものと評価している。市として、地区ビジョンを部局横断的に共にし、まちづくりの施策にも反映させるよう努めている。

Q 市内北上川整備計画

北上川水系河川整備

計画が意見公募されたが、本市内の整備計画の内容の詳細について伺う。

A(建設部長) 本計画は東日本大震災による計画見直しのため正式決定されていない。本市内での計画(案)によると、堤防整備は、宮野目、八重畠、八幡、新堀地区の4カ所を計画している。河道掘削は、矢沢、宮野目、八重畠の3カ所を計画している。引き続き無堤防区間の解消に向け国に要望していく。



急がれる北上川河川の堤防整備(東雲[しののめ]橋付近・八重畠地内)

地表面近くの放射量測定すべき必要と認められる個所にて対応

Q 放射能の影響を受けやすいとされる児童生徒が通う小中学校等97施設を測定しているが、雨だ

A(政策推進部長) 1セント、50センチ、1メートルの高さは、特定個所の線量率の測定との視点か表すべきと思うがどうか。

Q 公共施設を含む市内の太陽光発電システムの導入実態はどうなっているか。また、補助制度を

年年度以降も継続し、導入を推進すべきと考えるが方針について伺う。

A(生活福祉部長) 平成21年度の電力会社への売電契約数は798件、市の施設では5カ所で導入している。住宅用太陽光発電システム導入補助金は来年度も継続していく。また、公共施設への導入については、国県関係の基金を活用しての防災拠点施設等への導入を検討している。

Q 太陽光発電の導入

ら放射能の集まりやすい所の測定のために用いるものと承知しております。応したいと思う。

Q 以前、エーデルワイスクレクションについて先方から「期限を区切つて市の計画を示してほしい」との申し入れがあつたと聞くが、展示計画を示せないのであれば、資料の返却も含め、誠意ある対応が求められると思うが、今後の進め方を伺う。

A(大迫総合支所長) コレクションの持つ価値と存在意義につきましては、中心市街地の活性化に資

するとの判断から、継続協議しているところであります。今後につきましては、大迫地域を中心市街地顔づくり委員会での話し合いを見守つていきたくと考えている。

Q 農村守る財源確保を TPP関係国との話

し合いに望む国の決断への見解と、首相の「美しい農山村を将来にわたって守る」との発言の裏付けの財源確保を国に要望すべきではないのか伺う。

A(市長) TPPについては、詳細な情報が示され国民的合意を得た段階で対応すべきものと考えており、現時点では慎重に対応する。また、農業の体质強化という観点から全国市長会を通じ要望している。